

地方公会計財務書類 (概要版)

基山町 統一的な基準 平成28年度

単位 (千円)

貸借対照表

勘定科目	資産の部						負債及び純資産の部					
	一般会計等		全体会計		連結会計		一般会計等		全体会計		連結会計	
	金額	割合	金額	割合	金額	割合	金額	割合	金額	割合	金額	割合
1.固定資産	24,273,011	96.3%	29,931,050	95.7%	34,066,658	94.7%	5,846,863	23.2%	10,409,657	33.3%	12,364,056	34.4%
(1)有形固定資産	21,959,615	87.1%	26,441,902	84.5%	29,618,172	82.3%	5,446,679	21.6%	7,702,005	24.6%	8,736,401	24.3%
事業用資産	11,895,149	47.2%	11,895,149	38.0%	13,472,791	37.4%	-	0.0%	-	0.0%	-	0.0%
インフラ資産	9,916,989	39.3%	14,283,283	45.7%	15,618,944	43.4%	389,798	1.5%	389,798	1.2%	978,841	2.7%
物品	147,477	0.6%	263,469	0.8%	526,437	1.5%	-	0.0%	-	0.0%	-	0.0%
(2)無形固定資産	14,170	0.1%	895,858	2.9%	1,362,054	3.8%	10,386	0.0%	2,317,853	7.4%	2,648,814	7.4%
(3)投資その他の資産	2,299,227	9.1%	2,593,291	8.3%	3,086,432	8.6%	614,818	2.4%	768,766	2.5%	1,012,897	2.8%
投資及び出資金	351,467	1.4%	351,467	1.1%	28,161	0.1%	-	0.0%	-	0.0%	-	0.0%
長期延滞債権	35,980	0.1%	70,859	0.2%	77,525	0.2%	-	0.0%	50,412	0.2%	85,792	0.2%
長期貸付金	-	0.0%	-	0.0%	18,988	0.1%	-	0.0%	-	0.0%	-	0.0%
基金	1,913,530	7.6%	2,176,074	7.0%	2,951,606	8.2%	-	0.0%	-	0.0%	678	0.0%
その他	-	0.0%	-	0.0%	16,036	0.0%	-	0.0%	-	0.0%	-	0.0%
徴収不能引当金	1,751	0.0%	5,109	0.0%	5,883	0.0%	65,920	0.3%	68,231	0.2%	82,705	0.2%
2.流動資産	929,639	3.7%	1,345,811	4.3%	1,917,341	5.3%	15,484	0.1%	15,486	0.0%	25,935	0.1%
(1)現金預金	287,723	1.1%	439,100	1.4%	771,353	2.1%	5,901	0.0%	5,901	0.0%	7,747	0.0%
(2)未収金	14,134	0.1%	46,476	0.1%	110,624	0.3%	-	0.0%	-	0.0%	-	0.0%
(3)短期貸付金	-	0.0%	-	0.0%	-	0.0%	-	0.0%	-	0.0%	-	0.0%
(4)基金	628,446	2.5%	862,083	2.8%	903,727	2.5%	-	0.0%	-	0.0%	-	0.0%
(5)棚卸資産	-	0.0%	-	0.0%	123,424	0.3%	-	0.0%	-	0.0%	-	0.0%
(6)その他	-	0.0%	-	0.0%	10,565	0.0%	-	0.0%	-	0.0%	-	0.0%
(7)徴収不能引当金	665	0.0%	1,848	0.0%	2,352	0.0%	-	0.0%	-	0.0%	-	0.0%
資産の部合計	25,202,650	100.0%	31,276,861	100.0%	35,983,999	100.0%	18,740,969	74.4%	20,098,439	64.3%	22,607,046	62.8%
負債及び純資産の部合計	25,202,650	100.0%	31,276,861	100.0%	35,983,999	100.0%	6,461,681	25.6%	11,178,422	35.7%	13,376,953	37.2%
資産合計額に対する金融資産の割合	12.8%		12.6%		13.9%							

(投資その他の資産 + 流動資産) / 資産の部合計

貸借対照表では、年度末日現在で、どれだけの資産や負債があるのかを把握できます。左側の「資産」は、保有する資産の内容や額が記載してあります。右側の「負債」及び「純資産」は、「資産」を形成するためにどのような財源措置をしてきたかを表しています。「負債」は、今後、負担すべき債務であることから将来世代に対しての負担ととらえることができ、一方で、「純資産」は、今後負担する必要性のない資産、言い換えればこれまでの世代や現在の世代、または国、県が負担した分となります。

勘定科目	行政コスト計算書					
	一般会計等		全体会計		連結会計	
	金額	割合	金額	割合	金額	割合
経常費用	5,588,470	100.0%	8,170,020	100.0%	11,642,687	100.0%
1.業務費用	3,180,646	56.9%	3,634,086	44.5%	4,616,999	39.7%
(1)人件費	1,124,182	20.1%	1,172,046	14.3%	1,403,103	12.1%
(2)物件費等	1,960,975	35.1%	2,296,141	28.1%	2,958,848	25.4%
内、減価償却費	567,090	10.1%	742,782	9.1%	959,340	8.2%
(3)その他の業務費用	95,489	1.7%	165,898	2.0%	255,049	2.2%
2.移転費用	2,407,823	43.1%	4,535,934	55.5%	7,025,688	60.3%
(1)補助金等	1,241,537	22.2%	3,681,171	45.1%	6,170,640	53.0%
(2)社会保障給付	850,379	15.2%	850,379	10.4%	850,379	7.3%
(3)他会計への繰出金	311,524	0.0%	-	0.0%	-	0.0%
(4)その他	4,384	0.1%	4,384	0.1%	4,669	0.0%
経常収益	188,116	3.4%	377,465	4.6%	732,990	6.3%
1.使用料及び手数料	87,918		268,618		568,811	
2.その他	100,198		108,847		164,179	
純経常行政コスト	5,400,353		7,792,555		10,909,697	
臨時損失	3,810		3,810		8,370	
臨時利益	23,343		23,343		24,049	
純行政コスト	5,380,820		7,773,021		10,894,018	

行政コスト計算書は、民間企業の損益計算書にあたるもので、行政運営にかかったコストのうち、例えば人的サービスや給付サービスなど、資産形成につながらない行政サービスに要したコストを表したものです。また、実際に現金の支出を伴うサービスのほかに、減価償却費や退職手当引当金などの現金支出を伴わないコストまでを含んで表しています。さらに、その行政サービスの提供に対する直接の対価である使用料や手数料といった受益者負担がどの程度あったかを把握することができます。

資金収支計算書は、単年度の資金の収支を表し、1年間の資金の増減を、業務活動収支・投資活動収支・財務活動収支の3区分に分け、どのような活動に資金が必要であったかを示しています。また、本年度末現金預金残高は、貸借対照表の金融資産の資金の金額と一致します。業務活動収支は、日常の行政サービスを行ううえでの収入と支出を表しています。投資活動収支は、主に固定資産形成に関する収入と支出を言います。財務活動収支とは、地方債等の借入や元金償還に関する支出を言います。

純資産変動計算書

勘定科目	一般会計等	全体会計	連結会計
	金額	金額	金額
前年度末純資産残高	18,481,431	19,804,355	22,226,551
1.純行政コスト	5,380,820	7,773,021	10,894,018
2.財源	5,640,358	8,036,427	11,234,374
(1) 税金等	4,528,647	6,254,246	7,868,423
(2) 国県等補助金	1,111,711	1,782,181	3,365,951
本年度差額	259,539	263,406	340,356
1.固定資産の変動(内部変動)	-	-	-
2.資産評価差額	-	-	-
3.無償所管換等	-	-	-
4.他団体出資等分の増加	-	-	-
5.他団体出資等分の減少	-	-	-
6.その他	-	30,677	40,139
本年度純資産変動額	259,539	294,084	380,495
本年度末純資産残高	18,740,969	20,098,439	22,607,046

純資産変動計算書は、貸借対照表の純資産が、1年間でどのような要因で増減したか、を表すもので、本年度末純資産残高は貸借対照表の純資産合計と一致します。

資金収支計算書

勘定科目	一般会計等	全体会計	連結会計
	金額	金額	金額
1.業務活動収支	530,377	587,429	855,202
業務支出	5,099,726	7,473,101	10,727,984
内、支払利息支出	66,867	111,097	134,762
業務収入	5,633,912	8,064,340	11,586,868
臨時支出	3,810	3,810	4,166
臨時収入	-	-	484
2.投資活動収支	231,744	205,174	338,033
投資活動支出	778,795	956,117	1,158,864
投資活動収入	547,051	750,942	820,830
基礎的財政収支	365,500	493,352	651,931
3.財務活動収支	239,217	300,973	424,234
財務活動支出	653,195	750,951	947,634
財務活動収入	413,978	449,978	523,399
本年度資金収支額	59,417	81,282	92,935
前年度末資金残高	212,822	342,333	662,707
本年度末資金残高	272,239	423,616	755,642
前年度末歳計外現金高	15,996	15,996	16,348
本年度末歳計外現金増減額	511	511	637
本年度末歳計外現金高	15,484	15,484	15,711
本年度末現金預金残高	287,723	439,100	771,353